

Onagawa Learning Tour 企画書



2016年4月6日(水)

東北大学経済学部3年 白井森隆

～Agenda～

1. はじめに ～ツアー企画の背景～

2. Onagawa Learning Tour について
 - 目的
 - 概要
 - スケジュール
 - 予算

3. 今後の活動と課題

4. 依頼事項

.....



女川駅前プロムナード

1. はじめに ～ツアー企画の背景～

町の将来ために動いている人の存在を、伝えたい。

2016年2月、私は友人の紹介で女川の町をめぐるツアーに参加しました。女川の町を歩き、人と話し、女川を体感し、気づけば女川にハマってしまった自分がいました。

女川は、津波で人口の1割が犠牲となり、住宅の8割が全壊するという壊滅的な被害を受けました。全人口に占める死亡率と住宅の全壊率は全被災地のうちのトップです。一方で女川は、復興のトップランナーと呼ばれるほど、復興の進んでいる地域でもあります。温泉ゆぼっぽが併設された新しい女川駅の前には、ビール樽をイメージしたおしゃれなプロムナード商店街が広がり、そこではスペインタイルのセラミカ工房や女川地ビールなど、多数の新しいビジネスが起こっています。

女川は、震災前の状態に戻す復旧ではなく、大切なものは確実に残しつつ、全く新しい町として歩んできたのだと感じました。そしてその裏には、真剣にこの町の将来について考え、実行しているカッコいい大人たちがいます。私はいつしか、被災地として女川へ行くのではなく、おもしろい町だから、おもしろい人がいるから女川に行きたい、友人を連れてきたいと思うようになりました。

被災地に赴き、一見何も無い土地を見て「復興は進んでいないことがわかった。」という感想を持つだけでは非常にもったいない気がします。女川町の将来のことを本気で考え、行動している人々がいること、そしてその思いをもっと多くの人に知って欲しい。

このツアーがそのような場所を提供し、参加者の女川、そして被災地への関わり方を今一度考える機会となることができれば嬉しいです。

2016年4月6日

東北大学経済学部3年 白井森隆

2. Onagawa Learning Tour について

i. 目的

本ツアーは参加者に以下の目的を達成してもらうために企画されている。

- ① 震災とその被害と復興の過程について学ぶ
- ② 参加者や地元の人との対話を通し、復興・町づくりに対する考えに触れる
- ③ 自分たちの女川・被災地への関わり方を考える

震災から5年が経ち、傷跡を負った被災地では復興が進んでいる。一方で時間の経過に伴い震災に対する人々の意識は弱くなっている。日本人学生、

ましてや留学生にとっては、被災地について深く考え、自分の目で見える機会は少ないという現状がある。そのため、被災地に対して、今でも被災当時の悲観的な考えを持っている留学生が多いと感じる。学生に震災についても一度考えてもらい、町興しの目的や過程を知ること、被災地に対する学生の考えを前向きなものに変え、自分なりの被災地との関わり方を見つけて欲しい。被災地について知り、自分の関わり方を発見することで、彼らの将来がより豊かなものになれば幸いである。

ii.概要

* ツアー実施日程

2016年6月11日(土)～2016年6月12日(日)(2日間)

* 場所

宮城県牡鹿郡女川町

* 対象

東北大学の日本人学生、留学生

被災地の復興・町興しに関心のある学生を中心に対象とする。

* 言語

英語

* 規模 一般学生参加者 30 名、東北大学生スタッフ 6 名、

Tohoku Learning Tour Student Association1 名、引率 1 名

* 宿泊先

東北大学大学院農学研究科附属海洋生物資源教育研究センター

(女川フィールドセンター)

* 学生参加費

6,000 円 (宿泊費、スペインタイル制作費、懇親会費)

iii. スケジュール

事前研修あり

(目的共有、被災状況確認、訪問先紹介など)

2016 年 6 月 11 日 (土)			2016 年 6 月 12 日 (日)		
8:15	集合	東北大学川内	7:00	朝食	女川フィールドセンター
11:15	女川着		8:45	チェックアウト	
11:30	昼食		9:30	きぼうの鐘商店街	

ONAGAWA LEARNIG TOUR

13:15	オリエンテーショ ン	まちなか交流館	10:45	ゲストトーク	
14:00	女川町長表敬訪問		11:45	昼食	
	～バス移動～		13:30	スペインタイル体験	まちなか交流館
14:45	チェックイン	女川フィールドセンター	16:00	フィードバック	
15:15	地域医療センター	地域医療センター	18:00	女川出発	
15:45	自由時間	プロムナード商店街	20:30	仙台着（バス停乗り場前）	東北大学川内
17:00	ゲストトーク	まちなか交流館			
18:30	懇親会				
20:00	自由時間	各自			

※プログラム内容・時間は変更する可能性があります。

IV. ツアー予算

全体想定予算：37万8,000円

- ① 参加者費 18万円（宿泊費 6,000円/人×30人）
- ② スタッフ費用 4万8,000円（6,000円/人×8人）
- ③ 運営費 15万円（貸切バス2日）

※大学から、交通費（バス）、講師費（ゲスト）の予算がおりる可能性があります。

※1日目の昼食、夕食、2日目の昼食は別途個人負担です。



セラミカ工房のスペインタイル

3.今後の活動と課題

以下、各事項について確定させていく必要があります。

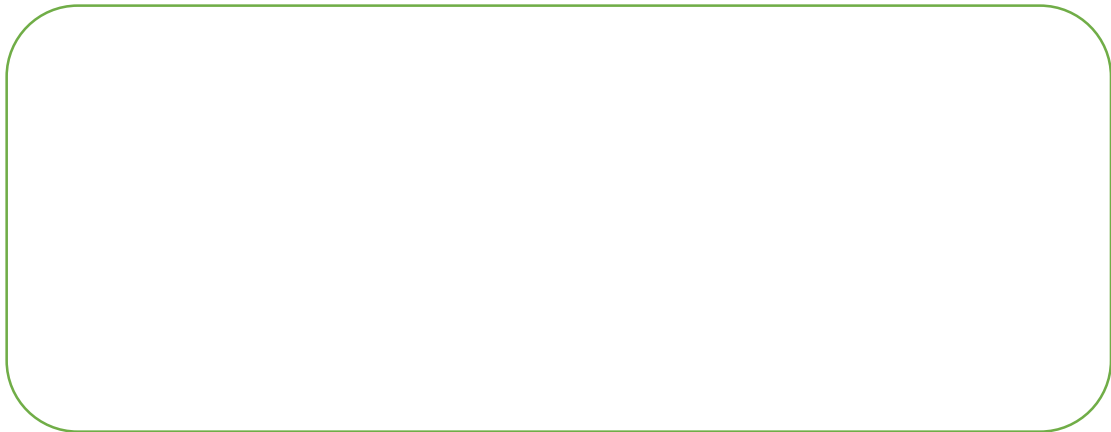
i. 東北大

- ① 全体予算の確定
 - ・参加費の調整
 - ・大学側との予算の交渉
- ② 参加者の募集

ii. 女川

- ① 現地の機関との調整
- ② ゲストの決定

4. 依頼事項



以上